

## 神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 平成28年度 要望・回答

## 京浜急行電鉄

## I 輸送力増強

## 1 新線・線増計画

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	京急久里浜駅以南の早期完全複線化について	京急久里浜駅～京急長沢駅間及び三浦海岸駅～三崎口駅間は単線であることから、京急久里浜駅もしくはYRP野比駅において、上下線の通過待ちにより列車が2分間程度停車している状況です。 については、京急久里浜駅以南の円滑輸送、混雑解消と都心方面への速達性向上のため、全線複線化計画を推進されるよう要望いたします。	久里浜線におきましては、ほぼ終日にわたり1時間6本運転を実施し、旅客の利便性および輸送力については、十分であると考えており、今後の需要動向に合わせて慎重に進めてまいります。
(2)	久里浜線の三崎口駅以南への延伸	本路線の延伸及び三戸・小網代地区の大規模宅地開発の事業が凍結されたことは承知しておりますが、開発手法を再検討するための一時凍結と捉えております。本路線の延伸については、地域経済発展に大きく影響を与えるものであり、長年にわたる市民の要望をご理解いただき、早期に凍結を解除し、事業実施に向けた準備を行っていただきますよう要望いたします。	大規模宅地開発および鉄道の延伸につきましては、三浦市において予測されている大幅な人口減少と高齢化により極めて困難な状況であると判断し、凍結することといたしました。今後は人口や開発の動向により、検討を進めてまいります。 当社において、三浦エリアは大変重要なエリアであると認識しております。今後も三浦エリアの活性化に向けたさまざまな施策を検討、実施してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

## 2 輸送計画の改善

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	横浜・川崎方面から羽田空港駅直通電車の増強	横浜方面から羽田空港駅直通電車については、平成24年10月のダイヤ改正で、大幅な増発や所要時間の短縮等により、利便性が確保されたこと、深く感謝申し上げます。 一方、羽田空港については、平成25年3月には国内線、平成26年3月には国際線が増便されたことから、利用者が増加している状況です。そこで、横浜・川崎方面から羽田空港アクセスのさらなる強化に向けて、快特等の運転本数の増加を要望いたします。	2015年12月ダイヤ改正より、羽田空港国際線の増便に伴い、夜間時間帯に到着する旅客の利便性向上のため、23時台に横浜・川崎方面へ直通するエアポート急行を平日・土休日とも増発しております。 また土休日については、深夜国際線に搭乗する旅客のため、横浜・川崎方面からの特急を1本増発しております。 なお、電車に対応できない早朝深夜便は当社グループのバスにて対応する等、羽田空港アクセスには責任もって対応いたします。

(2)	YRP野比駅から都心方面への直通運転の増発	<p>21時台以降のYRP野比駅からの上り電車は、そのほとんどが、京急久里浜駅乗換えとなっており、乗車後すぐの乗換えは、利用者にとって非常に不便な状況にあります。</p> <p>YRP(横須賀リサーチパーク)地区には、現在約4千人の就業者がおり、そのうち約6割が公共交通機関を利用している状況です。</p> <p>今後、YRP地区へ新たな産業集積を進めていくためには、公共交通機関の利便性も重要なポイントとなりますので、京急久里浜駅での乗換えを要しない東京直通の電車の増発について、検討をお願いいたします。</p> <p>また、車両交換のため、どうしても東京直通の電車の増発が困難であるならば、YRP野比駅構内に待合室を設置する等、利用者の負担が軽減されるようご配慮をお願いいたします。</p>	<p>日中および夕ラッシュ使用車両を翌日の車両運用に対応した車両に交換する必要があり、現在、車両基地のある京急久里浜駅で対応しております。この際、下り方面で車両を交換することは混雑から困難であるため、上り列車での交換を実施しておりますが、2016年11月のダイヤ改正にて、上り方面ご利用のお客様の利便性を考慮し、車両運用をできる限り効率化し、YRP野比駅22時40分発および22時59分発の列車は都心方面への直通としました。</p> <p>待合室につきましては、全線72駅(泉岳寺駅を除く)のうち鮫洲駅他7駅に設置されております。今後、YRP野比駅をはじめ各駅における構造上の問題等、設置の可否を調査し検討させていただきます。</p>
(3)	上り最終電車の都心方面への延長	<p>YRP野比駅発23時台の上り電車は、23時19分発が神奈川新町駅行き、23時40分発が堀ノ内駅止まり最終電車で、都心方面への接続がありません。</p> <p>については、YRP(横須賀リサーチパーク)を22時台、23時台に発つバス利用者の利便性から、横浜ないしは品川方面行きの電車の増発及び最終電車の繰下げについてご配慮をお願いいたします。</p>	<p>今後の都心方面への上り最終列車を利用されるお客様の動向等を考慮し検討してまいります。最終列車から始発列車までの時間には、安全に運行する上で欠かすことのできない線路設備等の整備・点検を行っており、また、翌朝の車両運用等も考慮して時刻を設定しておりますので、現状では困難であります。ご理解をお願いいたします。</p>
(4)	逗子線から品川方面への特急増便	<p>これまでのダイヤ改正での「エアポート急行」の新設や増便により、新逗子方面から横浜、羽田空港への利便性が高まりました。</p> <p>しかしながら、都心方面への利用者が多い朝の通勤時間帯において、品川方面への特急列車の本数は非常に少なく、平日は6時32分と8時32分の新逗子駅発のみとなっており、都心方面へ通勤する利用者は乗換えを余儀なくされております。</p> <p>については、沿線人口および利用状況を勘案された上でダイヤを編成されていることと存じますが、朝の通勤時間帯において、逗子線から品川方面への特急を増発、または、羽田空港行特急のうち数本を品川方面行特急へ変更することについて、引き続きご検討くださるようお願いいたします。</p>	<p>2012年10月のダイヤ改正により、平日朝ラッシュ時は、新逗子方面から羽田空港行特急を3本増発しました。日中は、新逗子方面から羽田空港行エアポート急行を1時間あたり3本増発し、1時間あたり6本といたしました。</p> <p>現在、品川方面の優等列車は朝ラッシュ時12本/時間(5分間隔)、その他の時間帯については6本/時間(10分間隔)を基本にダイヤ編成を行っており、輸送力および所要時分等を勘案した運転本数としております。昼間は車両の定期点検を実施するため、営業に使用できる車両数が制限される事や、速達性を考慮するとこれ以上の優等列車の増発は難しいのが現状です。この様な現状で、沿線人口および利用状況を勘案すると、優等列車については久里浜線、本線系統での運転が主にならざるを得ません。</p>

(5)	久里浜線下り最終電車等の運転区間の延長	<p>現在、平日の久里浜線の最終電車及び最終一本前の電車は、いずれも京急久里浜駅止まりとなっています。</p> <p>については、京急久里浜駅以南の利用者の利便性向上のため、最終電車及び最終一本前の電車の運転区間を延長していただきますよう要望いたします。</p> <p>なお、延長する運転区間については、京急久里浜駅発0時31分の三浦海岸駅行きも含めて、三崎口駅までとすることについて、ご検討くださるようお願いいたします。</p>	<p>2016年11月のダイヤ改正にて、お客様の利便性向上を目的に、三崎口行き最終列車は京急久里浜駅23時56分発となり、6分繰下げとなりました。品川駅発ではウイング号のご利用となりますが、23時00分と9分繰下げ、上大岡駅発では23時28分と6分繰下げとなりました。京急久里浜駅止まりの列車の延長運転につきましては、今後利用されるお客様の動向等を考慮して検討してまいります。最終列車から始発列車までの時間には、安全に運行する上で欠かすことのできない線路設備等の整備・点検を行っており、また翌朝の車両運用等も考慮して時刻を設定しておりますので、現状では困難であります。ご理解をお願いいたします。</p>
(6)	大晦日の最終電車の繰下げ	<p>12月31日開催の「よこすかカウントダウン」は、三浦半島最大の年越しイベントとして定着しております。第2回実施時に、国道16号線、本町山中線の大渋滞を引き起こし、JR横須賀駅発のバスの運転に支障をきたしました。</p> <p>今年度も相当数の入込み客が見込まれていることから、混乱回避のため、参加者にはできるだけ公共交通機関をご利用いただきたいと考えております。</p> <p>については、バス事業者とも連携しながら、引き続き大晦日の最終電車の繰下げを実施いただくようお願いいたします。</p>	<p>大晦日の終夜運転につきましては、移動手段の多様化等に伴い、鉄道における輸送人員が激減しております。当社では、本年度も泉岳寺～横浜駅間は終夜運転、横浜～京急久里浜駅間は最終列車の繰下げを実施しておりますが、同業他社におきましては、終夜運転を取りやめる社局もございます。当社も年々輸送力を減少させているが現状であります。</p> <p>しかし、新たな需要を喚起するため2017年元日につきましては、三浦海岸や城ヶ島で初日の出を参拝するお客様の利便性を図るための「初日号」に加え、貸切列車「みうら元旦号」を運行しました。</p> <p>沿線におけるイベント開催時は、それに伴う混雑を考慮し、ご利用のお客様の利便性を損なわないよう検討してまいります。</p>

## II 利便性向上

### 1 停車要望

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	京急鶴見駅、日ノ出町駅への特急電車の停車	<p>京急鶴見駅、日ノ出町駅は普通電車及びエアポート急行の停車駅となっていますが、事業所や店舗が集中する地域にあり、周辺においては市街地再開発事業も進んでいることから、特急電車の停車を要望いたします。</p>	<p>当社のダイヤは、公共交通機関として、出来るだけ多くのお客様に便利にご利用いただけるダイヤを目指し作成しております。ダイヤ改正に際しては、各駅の乗降客数や他社線との乗り換え利便等、沿線全体のバランスを考慮し、現状の保有施設を最大限に活用できるダイヤを目指し作成しておりますので、何卒ご理解をいただければと存じます。</p> <p>京急鶴見駅ならびに日ノ出町駅をご利用のお客様については、2010年5月のダイヤ改正において新設した優等種別エアポート急行の停車を行うとともに、2012年10月のダイヤ改正により、日中は羽田空港行エアポート急行を1時間あたり3本増発し、1時間あたり6本とし利便性、速達性が向上したものと考えております。</p>

(2)	汐入駅への快特電車の停車	<p>汐入駅は、市街地再開発事業など重点的な施策を展開している地区にあり、都心方面から横須賀芸術劇場(年間利用者約24万人)の利用者や、軍港めぐり、ヴェルニー公園、湘南国際村を訪れる人々が利用する駅として、横須賀市の中心市街地の、北の玄関口となっています。一部ダイヤの改正により、乗継ぎ利便性にご配慮いただきましたが、依然として日中の特急電車の本数は少なく、市内外から多くの来場者がある芸術劇場のお客様からも、快特電車の停車要望を多数いただいております。また、軍港めぐりやヴェルニー公園を訪れる市内外からの多くの観光客の利便性も考慮される所です。</p> <p>については、通勤・通学客の利便性向上及び劇場等利用者や観光客の公共交通機関利用促進のため、恒常的に快特電車を停車されるよう要望いたします。</p>	<p>日中の普通は10分間隔で運転し、品川・横浜方面は金沢八景駅で、京急久里浜方面は堀ノ内駅で快特に接続しております。</p> <p>また、朝・タラッシュ時には従来どおり特急を運転しているほか、2016年11月のダイヤ改正にて、品川駅発21時50分以降の快特3本を特急に変更したことで、汐入駅への帰宅利便性が向上しております。</p>
-----	--------------	--	---

## 2 駅施設等の整備

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	高齢者、障害者等に配慮した駅施設の整備等	<p>高齢者や障害者等の利用者の安全確保等を図るため、逐次施設の整備を行っていただいておりますが、65歳以上の老年人口比率は、今後ますます増加することが予想されます。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」及び「移動等円滑化の促進に関する基本方針」を踏まえ、今後とも高齢者、障害者等の利用に配慮した駅施設等に係る次の事業に積極的に取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>また、県内の沿線市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び事業の推進を要望いたします。</p> <p>①転落防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームドア、可動式ホーム柵等の設置による高齢者、視覚障害者等の旅客の転落を防止するための設備の整備について、支援制度も創設された一部自治体はもとより、その他の県内駅にも早期設置を要望いたします。転落防止施設の整備が困難な場合は、当面の策として内方線付きJIS規格化点状ブロックを整備し、線路への転落時の対応として、転落検知マットの設置等安全対策をされるよう要望いたします。</li> </ul> <p>②多機能トイレ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多機能トイレの設置、改良、誘導路設置、段差解消について要望いたします。</li> </ul> <p>③エレベーター、エスカレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車いす対応のエレベーター、エスカレーターの設置を要望いたします。</li> </ul>	<p>当社では、高齢者、障害者等のお客様が安全で快適にご利用いただけますよう「人にやさしい駅施設」を目標に、各種設備の整備を国および関係自治体のご協力を仰ぎながら積極的に進めております。</p> <p>①転落防止</p> <p>ホームからの転落防止につきましては、2020年度までに京急蒲田駅、京急川崎駅、横浜駅、上大岡駅、羽田空港国内線ターミナル駅にホームドアの設置を進めてまいります。また、JIS規格対応の内方線付き点状ブロックを2013年度に乗降客10万人以上の駅について整備を完了しているほか、10万人未満の駅についても2018年度までに内方線を整備する計画です。</p> <p>②多機能トイレ等</p> <p>各駅に整備済みです。</p> <p>③エレベーター・エスカレーター</p> <p>エレベーターは各駅整備済み、エスカレーターにつきましては、お客様の安全を考え、設置条件に合う駅に対して設置しています。</p>

## ④救急担架対応エレベーター

・救急出場件数が年々増加傾向にある現在、駅構内における救急事案も増加の傾向にあり、それに対応する救急隊も傷病者の収容には苦慮しているところ。傷病者の収容に際しては、救急担架を水平にして搬送することが望ましい傷病者も多いことから、救急担架が容易に収容できるエレベーター(奥行き2.0m以上、幅0.6m以上)の設置を要望いたします。

また、設置が困難な場合には、代替案として、足部等が折りたためる等のコンパクトにエレベーターに収納することが可能なサブストレッチャー(搬送補助器具)を装備していただきたく要望いたします。

## ⑤車両等

・高齢者や障害者等がさらに利用しやすいよう、移動等円滑化された車両の整備、新車両の開発・導入を検討されるよう要望いたします。  
 ・全車両内において、車いすやベビーカーなどの利用者が使用できるスペースを配置するとともに、周囲からも容易に認識できるように、マークの掲出や床面等の着色を行うよう要望いたします。また、駅構内において、車いすやベビーカーなどの利用者に対する相互理解を深めるためのポスター等の掲出についても併せて要望いたします。

## ⑥案内表示

・多言語及びふりがなの表示された案内板の設置を要望いたします。  
 ・視覚障害者用誘導ブロックや音響音声案内装置は全駅に整備いただいているところですが、触知案内図についても設置を要望いたします。

## ⑦人的対応

・ラッシュ時における改札、精算窓口、エレベーター等を利用する際の駅職員による配慮のほか、利用者へ声かけなどの心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実に取り組まれるよう要望いたします。

## ④救急担架対応エレベーター

救急担架が収納できるエレベーターの設置につきましては、設置面積が大きくなり、ホームの幅員・旅客通路の減少となるため、大変困難であると考えております。

(各駅に担架の設置は対応済みです)

## ⑤車両等

移動等円滑化のために必要な車両等の構造および設備に関する基準に基づき改造・新造を行っております。今後も高齢者や障害者等の利用しやすい車両を導入してまいります。

## ⑥案内表示

駅名等、業務サインにつきましては、4か国語(日・英・中・韓)および2か国語(日・英)表記に更新中です。触知案内図につきましては、全駅設置に向け調整しております。

## ⑦人的対応

お困りになっているお客様へ社員より積極的にお声掛けするよう当社社員にも周知徹底をいたしております。また、何かありましたらお気軽にお声掛け下さい。

(全ての駅ホームに駅事務室と直接通話できるインターホンを設置しております)

心のバリアフリー啓発活動につきまして、視覚障害者にはグループ会社を含む鉄道職員が積極的な声掛けを実施しております。

車内における情報提供につきましては、駅の設備案内や運行状況等が表示できるトレインビジョン(17インチディスプレイ)の取付けを促進し、情報提供の充実を図ってまいります。

このほか県内各自治体にて実施されているバリアフリー検討協議会等にも積極的に参加するとともに、国や関係自治体における公共交通特定事業の作成・実施について積極的に協力してまいります。

今後も安全で快適にご利用いただけますよう各種設備の整備に取り組んでまいりますので、国および他自治体と同額の補助をお願いいたします。

(2)	三浦海岸駅と三崎口駅の駅舎改良及び駅前広場改良	<p>三浦市内の両駅については、従前より、駅舎及び駅前広場の早期改良が強く求められております。</p> <p>こうした中、既に、三崎口駅の駅舎関連工事を完成していただきましたが、引き続き、三浦海岸駅の駅舎とともに、両駅の駅前広場につきまして、再整備を実現されるよう要望いたします。</p> <p>なお、これらの再整備に当たっては、利用者や地元の意見なども、取り入れられるようお願いいたします。</p>	<p>三浦海岸駅につきましては、駅舎の改築を2016年度の着手で計画を進めております。</p> <p>三浦海岸桜まつり期間にあわせて「お花見列車の運行」や「夜間ライトアップ」のキャンペーンを実施いたしております。今後も各種キャンペーンの実施を行ってまいりますので助成等の検討をお願いいたします。</p> <p>地元店舗・施設と協力して行っております企画乗車券「みさきまぐろきっぷ」を利用しての三浦・三崎地区へお客様が増えてきております。企画乗車券においては鉄道割引を実施しておりますので、各種企画における助成等の検討をお願いいたします。</p>
(3)	神奈川新町駅の本格的なバリアフリー化	<p>神奈川新町駅の1日の乗降客数は18,000人／日(平成27年度)と、3,000人／日を大きく超えている状況ですので、現況のエスカルによる対応ではなく、エレベーター設置などの本格的なバリアフリー化について、早急に検討、調整を実施し、早期の実現を要望いたします。</p>	<p>駅舎改良およびバリアフリー化を予定しているため、現在社内および関係自治体と調整を行っております。</p>
(4)	京急鶴見駅構内へのトイレ設置	<p>京急鶴見駅は、1日の乗降客数は30,000人／日(平成27年度)と多くの方に利用されていますが、現在改札内にトイレがないため、改札外のトイレを使用しなければならず、大変不便な状況となっております。つきましては、駅利用者の利便性の向上のため、早期の改札内へのトイレ設置を要望いたします。</p>	<p>現在、京急鶴見駅は耐震補強工事を2016年度内完了予定で行っております。併せて改札内へのトイレ設置も計画しております。</p>

## Ⅲ その他

番号	要望事項	要望内容	回答
(1)	自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進	<p>駅までの交通手段として利用される自転車や原動機付自転車が、駅前の歩道、車道、さらに周辺の道路、空地に放置され、歩行者の安全対策、車両交通対策、また景観上から支障が大きくなっています。</p> <p>このような問題の解決及び利用者の利便性向上のため、放置自転車等を収容する自転車等駐車場の確保及び整備に努力しているところですが、駅周辺において新たな用地を確保することは困難な状況にあります。</p> <p>については、自転車等の利用者の大部分が京急線を利用する通勤・通学者であること、また、自転車等駐車場の設置に対する鉄道事業者の協力義務を規定した「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律(自転車法)」の趣旨にのっとり、自転車等駐車場用地の提供及び自転車駐車施設の設置・運営等、放置自転車対策の推進について積極的に取り組まれるとともに、現在、自治体あてに有償で貸し付けている用地の借地料軽減について、ご検討いただきますよう要望いたします。</p> <p>なお、平成18年6月から改正道路交通法が施行され、自治体としても、自動二輪車(排気量50ccを超えるもの。ただし、側車付きは除く。)の駐車対策を早急に進める必要があるため、自転車、原動機付自転車と同様に、自動二輪車の駐車場の設置についても、特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。</p>	<p>自転車等駐車場用地の提供につきましては、引き続き各自治体の要請に応じ、当社事業に支障のない限り積極的に協力してまいります。</p> <p>なお、有償でお借りいただいている用地の賃借料につきましては、適当な賃借料にてお借りいただいているものと考えております。</p> <p>また、自転車等駐車施設の当社設置・運営につきましても関係自治体から補助金をいただきながら積極的に取り組んでおりますが、更に設置・運営しやすいよう、設備導入への補助金の確保や自転車等駐車場用地の固定資産税、都市計画税の減免、当社用地を含む駅周辺の放置禁止区域指定等、ご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、自動二輪車の駐車スペースの確保につきましても、協力をいたしております。</p> <p>今後も「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律(自転車法)」の趣旨にのっとり、自転車等駐車場の用地協力・設置・キャンペーンへの協力など実施してまいります。</p>
(2)	乗継運賃制度の拡充	<p>現在、貴社におかれては、JR東日本ほか、他の民営鉄道との乗継ぎによる割引制度が実施されており、平成25年3月からは交通系ICカードの全国相互利用サービスが開始され、公共交通機関の乗継利便性の向上に取り組まれているところですが、さらなる利便性向上のため、今後は、他の公共交通機関も含めた乗継運賃制度の拡充について、積極的に取り組まれるよう要望いたします。</p>	<p>乗継割引制度については、主に近距離のお客様の利便性向上のために実施しておりますが、直ちに旅客増に結びつかないこともあり、今後も慎重に検討してまいります。</p>

(3)	産業道路駅の駅名変更	<p>産業道路駅周辺では、地下化工事を推進している京浜急行大師線の立体交差化をはじめとして、首都高速横羽線と高速川崎縦貫線の結節点となる大師ジャンクションが平成22年10月に供用されるなど、地域を取り巻く環境がこれから大きく変化してまいります。</p> <p>また、国際戦略拠点の形成を推進している殿町地区へのアクセス駅として、平成23年10月には、京浜急行電鉄により産業道路駅前にバスバースが供用開始され、引き続き、バスターミナル新設に向けての取組みが貴社との連携により進められています。</p> <p>このように、産業道路駅周辺を中心として、まちづくりが急速に進展しており、これからの産業道路駅が果たす役割も、川崎臨海部における交通結節点の一つとして、従来とは比較にならないほど、地域の重要な拠点となってまいります。</p> <p>については、産業道路駅立体交差化完成の際には、この駅が、今後果たすべき役割にふさわしく、かつ、さらなる産業道路駅周辺地区を中心とした、川崎市の飛躍につながるような、象徴的で新しい駅名への変更を要望いたします。</p>	<p>産業道路駅においては、川崎市策定の「川崎臨海部土地利用誘導ガイドライン」において臨海部の公共交通網を支援、補完する交通結節点として、「サポートエリア」に位置付けられ、川崎市と共にバス交通広場の検討および整備を当社グループの臨港バスを含めて積極的に協力しております。</p> <p>一方で、産業道路駅は、1944年6月に大師線を延伸し、開業して以来、「産業道路駅」という駅名であり、駅名も全国的に浸透しておりますので、慎重に検討すべきことであると考えております。</p> <p>※産業道路駅所在地 川崎市川崎区大師河原2-4-25</p>
(4)	神武寺駅における英語放送の実施、又は列車発車案内装置の設置	<p>駅名・案内サインの多言語化については、順次進めていただいているところですが、神武寺駅には隣接する池子米軍家族住宅専用の改札口が設置されており、米軍関係者の利用の促進と利便性向上のため、神武寺駅における、英語による案内放送の実施、または、二ヶ国語による列車発車案内装置の設置を要望いたします。</p>	<p>現在、神武寺駅につきましては、接近する列車の種別を日本語と英語により表示する列車接近案内表示装置を設置しており、英語放送、列車発車案内装置(発車時刻・列車種別・行先等を日本語と英語により表示するもの)を設置する予定はございません。</p>
(5)	券売機のクレジットカード利用について	<p>インバウンド対応として、券売機において、定期券以外の乗車券等を購入する場合にも、主要なクレジットカードが使えるよう、設置をお願いいたします。</p>	<p>インバウンド対応といたしまして、当社では外国人利用が多い羽田空港国際線ターミナル駅・品川駅・横浜駅に外貨両替の店舗や自動両替機を設置しており、外国通貨(現金)から日本円への両替が可能です。また、当社の駅構内営業店舗はセブンイレブン加盟店であり、店内に設置のセブン銀行ATMにおいてはクレジットカード(キャッシング)での日本円の引き出しが可能となっております。いただきましたご要望は今後の検討課題の1つとさせていただきます。</p>